

人間は外界の情報の80%を目を通じて得ていると言われています。日本の社会はますます高齢化しています。それに伴って目の病気により視覚障害に苦しんでおられる患者さんの数も増えていると思われます。その中でも代表的な目の病気は白内障です。

白内障とはどんな病気ですか？

目の中にはカメラでいうレンズに相当する水晶体というものがありません。水晶体はもともと透明ですが、水晶体を構成しているたんぱく質が変性し、濁ってしまうことが白内障です。この濁りによって外界からの光が網膜までうまく届かず視力が障害されます。50歳前後に発症する方が多く、80歳以上のほとんどの方に認められる病気です。

どのような症状が表れますか？

最も重要な症状は視力の低下です。その他かすみ、明るい所へ出ると眩しく見にくい、ものが二重・三重に見えるなど様々な症状があります。進行しすぎると「白内障」の名の通り、瞳孔が白く濁って見えるようになります。初期中期の白内障はご自身では確認できませんので、気になる症状があれば専門医に相談すると良いでしょう。重症化を防ぐためにも、定期的に検診することをお勧めします。

白内障の原因は？

一番多いのが加齢によるものです。その他には、他の眼疾患に伴って起こる併発白内障、糖尿病、アトピー性皮膚炎、ステロイド長期使用による白内障、先天性白内障などがあります。

治療方法について教えてください。

点眼薬

予防効果や進行を少しでも遅くする効果を期待して使用されます。現在までに開発された「抗白内障薬」では完全に進行を阻止することは不可能です。しかし、点眼を続けて少しでも進行を遅らせる努力は大切です。医師からお薬を処方された場合は続けるようにしてください。また、バランスのよい食事を心掛けることや強い紫外線の曝露を避ける（サングラスや保護眼鏡）ことも大切です。

手術

いったん白内障が進行して水晶体が混濁すると薬で元の透明性を回復することはできません。したがって、白内障が進行した場合は手術以外に視力を回復する手段はありません。白内障以外に眼の病気がなく、視力低下の原因が白内障だけによるのであれば、術後視力は回復します。手術では水晶体の濁りを取り除き、人工の水晶体（眼内レンズ）を挿入します。日本では1年間で約100万

件行われており、外科全体の手術の中でも一番多いものです。健康状態など一定の条件をクリアされている方には日帰り手術も可能です。現在一般的に行われている手術方法は点眼麻酔などの局所麻酔で行う超音波乳化吸引術という方法です。超音波で水晶体の核を砕いて除去します。20年ほど前の手術方法ですと1センチ位の傷口を開ける必要があったのですが、現在の手術方法は傷口が数ミリで済み、眼に対する負担が少ない視力の回復が早くなります。術後目の状態が安定するまで2〜3か月は点眼薬が必要です。合併症が起きないように、定期的に診察を受けることも大切です。また、最近開発された新しい眼内レンズが2つあります。1つは乱視を矯正するトーリック眼内レンズ。もう1つは眼鏡の必要性を軽減し、眼鏡なしで遠くも近くも見えやすくなる多焦点眼内レンズです。これらの新しい眼内レンズは、術後のより良い視力を求めて進歩してきた眼内レンズですが、誰にでも合うというわけではありません。いくつかの術前検査の結果を総合的に判断して使えるかどうかを決めます。また多焦点眼内レンズを使用する場合は、先進医療扱いとなり、保険適応外となります。ご自分の眼にどのような眼内レンズが良いのか、担当医と相談されると良いでしょう。

わたしたちの健康

日曜・休日に実施している医療機関

午前10時～午後4時

月日	場所	施設名	科目	☎(048)	場所	施設名	科目	☎(048)	
10	2	朝霞	村山クリニック	内・循内	471-1636	新座	大塚産婦人科医院	産婦・小	479-7802
	9	志木	はんだ内科クリニック	内・消内・循内・小	486-2327	和光	村山皮膚科クリニック	皮・アレ	464-5333
	10	朝霞	石原クリニック	消内・内・外・肛	486-1890	朝霞	北朝霞藤宮眼科	眼	474-1417
	16	朝霞	ひるま小児科クリニック	小	466-0320	和光	勝海外科	外・消内・整外・皮・内・呼内	464-2685
	23	朝霞	青柳診療所	内・消内	465-5077	朝霞	大城胃腸科外科医院	消内・外・皮	463-1575
	30	和光	新倉診療所	内・外	467-1155	新座	飛田耳鼻咽喉科	耳	479-4062



※当番医は変更になる場合もあります。確認してからお出かけください。